

平成 30 年度 東京藝術大学大学院美術研究科（修士課程・第 2 期）

入学者選抜試験 陶芸（陶・磁・ガラス造形）

平成 30 年 2 月 13 日

## 注意事項

- ・ 試験が終わるまで、携帯電話等、通信機器の電源は切り、封筒に入れてください。
- ・ 写真撮影等、一切の記録を禁止します。
- ・ トイレに行く際は必ず受験票を携帯すること。
- ・ 与えられた問題用紙、草案用紙等は持ち帰らない。

平成 30 年度 東京藝術大学大学院美術研究科（修士課程・第 2 期）

入学者選抜試験 陶芸（陶・磁・ガラス造形）

平成 30 年 2 月 13 日

本日の試験は下記の時間割で行います。

■ 筆答試験 / 試験場（陶芸研究室）

筆答 1            10:00 ~ 10:30

筆答 2            10:40 ~ 11:20

◇ 昼食 / 屋外または控室 12:20 試験場 集合

■ 実技試験 / 試験場（陶芸研究室）

12:30 ~ 14:30

## 筆 答 試 験 1

（10：00～10：30）

### 問 題 1

・以下、何の説明か解答用紙に答えなさい。

[ 1 ] 中国、朝鮮において宮廷用の陶磁器を焼くために置かれた窯、民窯に相対する概念。宮廷用の陶磁器を専門に製造する官営の工場が置かれた場合と、民窯に宮廷用の陶磁器を製造させていた場合とがあり狭義には宋時代に置かれたものを称することがある。日本では江戸時代の鍋島藩窯がそれに近い性格を持つとされている。

[ 2 ] 一万年に及ぶ縄文時代を 6 時期に大きく分けた時期区分の一つ。この時期の土器の特徴として、東日本を中心に各地で特色ある優れた造形美をもつ土器が作られ、深鉢を中心に、用途に応じて浅鉢・壺・釣手土器・器台・蓋などいろいろな形のものが現れる。中部地方の勝坂式土器や新潟地方の火炎式土器のようにダイナミックな文様や大きな把手がつくものも出現。口縁に蛇や猪などの動物や人面をデザインすることも多い。

[ 3 ] 1392 年李成桂が朝鮮半島に建国し、1931 年の日韓併合までの約 500 年間続いた李氏を国王とする朝鮮王朝の日本での略称。この時代の朝鮮陶磁は三島・刷毛目・粉引・染付・鉄砂など名称と呼ばれ、珍重された。日本の陶磁器に大きな影響を与えた。

[ 4 ] 愛知県知多半島で焼かれる陶器の総称。半島全域に 1000 基を超える窯跡が知られている。瀬戸とともに中世の日本を代表する窯業地で 12～16 世紀にかけて壺・甕・鉢を量産した。明治時代には朱泥急須などの煎茶器を輸出し、土管、蛸壺、井戸筒を量産し大きく発展した。この地方一帯の窯の総称は六古窯の一つとされる

[ 5 ] 陶磁器を焼成する際の窯詰めを使用する耐火性のある容器。。焼成物の中に入れ、灰や不純物の付着や、炎が直接接触れるのを防ぐとともに、積み重ねることで窯の容積を有効に活用するために使用される。焼成による変形が少なく、高温で強度、急熱、急冷に耐える性質が要求される。

[ 6 ] 粘土を焼成して粉碎したもの。非可塑性成分として粘土などの調合に使用すると乾燥収縮、焼成収縮を少なくすることができる。

[ 7 ] 炉壁の下部に設けたバーナーの燃焼炎が、炉内側壁に沿って天井まで上昇したのち、炉内の焼成物の間隙を下降して、炉床の設けた煙道へ吸引される燃焼方式の窯。うさぎ窯、丸窯、角窯、シャトル・キルンなどの単独窯の多くがこの方式を採用している。昇炎式窯に比べて炉内の温度分布の差が小さいという特徴がある。

[ 8 ] (1904～1988) 芸術家。日本人の父、アメリカ人の母を持ちアメリカに生まれる。幼少時は日本に住むが、1918年に単身渡米して高校、大学に進む。コロンビア大学では医学を学んだが、志を芸術へ向ける。その後、彫刻家ブランクーシをパリに訪ね、師事した。1931年来日し、京都の宇野仁松に陶芸を学び、埴輪などの原始美術に触発されてテラコッタを制作した。第二次大戦後、たびたび来日しては美術家との交流や創作活動を行い、土、石、ブロンズなどによる優れた抽象彫刻作品を残した。とりわけ土の材質に忠実に、かつ東洋原始美術の剛健な美感を現代的なフォルムに蘇生させた作品群は、八木一夫や辻晋堂らの先鋭作家たちをおおいに刺激し、戦後美術の展開に重要な足跡を残す。彫刻、陶芸などの造形美術のほか、舞台美術造園・造園・家具デザインなど多くの分野で活躍し、ニューヨークと香川県牟礼町のアトリエを往復して創作活動を繰り広げた。

[ 9 ] イギリス人陶芸家。初期には柳宗悦や富本憲吉と交友、柳邸内で築窯し主に筒描きによる絵付けの楽焼を制作した。大正9年に濱田庄司を連れイギリスに帰国しセント・アイブスに日本風の登り窯を築き濱田と共に作陶を開始した。産業革命前のイギリス伝統のスリップで装飾したものと中国、朝鮮陶磁の影響を受けた作品を制作した。昭和9年から柳、濱田、河井寛次郎らを中心とした民芸運動に深く関わった。帰国後息子のデイビットと共に日用食器の生産に本腰を入れ、第二次世界大戦後のイギリスにおいて人気を博した。作品は初期から特徴的であったイギリス伝統のスリップウェア的要素と東洋陶磁的要素の融合が実を結び西洋、東洋の文化が融合した生命感と神秘性に溢れる絵付けが伸びやかに加飾されイギリスの近代陶芸を代表する陶芸家となった。また「ア・ポッターズ・ブック」などの著作や柳の著作の英訳を通じて近代陶芸の理論や民芸の理論を世界に普及させた功績はきわめて大きかった。

[ 10 ] 窯炉の排ガス通風量を調節する可動式の遮断板。これを調節することにより窯内の圧力を加減することができ、窯内の焼成雰囲気微妙に調整できる。窯炉の煙道や煙突に取り付け、排ガスを直接遮断する方式と、外気の吸引量で間接的に排ガスを調整する方式がある。

[ 11 ] 粉体原料または原料混合物をあらかじめその溶解温度以下で加熱処理し、脱水反応、炭酸塩の分解・相転移を起こさせて安定化させること。目的としては、材料の焼成収縮をできるだけ小さくする、原料を安定化させることなどが挙げられる。

[ 12 ] 粘土などや鉱物の粒度や比重の違いによる粒子の水中での沈降速度の差を利用して、分離精製や粒度分けをすること。土濾しともいう。また、木灰や土灰などの灰を水に浸し攪拌した後、一定時間静置し上澄み液(灰汁)をきることを繰り返し、可溶性アルカリ塩類を取り除くこと。

[ 13 ] 主にカオリン鉱物が主成分の粘土。耐火度が高く、色が白く、可塑性が低い。通常は水簸などにより生成して原料とし酸化鉄、酸化チタンをあまり含んでいない状態にして使用する。焼成後は白色で透光性のある、硬く緻密で吸水性のない微細な組織をもち叩くと金属的な静音発する(ガラス化)磁器となる。

[ 14 ] 長石や陶石を基本原料とし、石灰石を媒融剤として加えた透明で光沢のある釉薬。主に染付に用いられる代表的な透明釉で染付釉ともいう。適度の粘性と流動性があり、焼成温度幅が広いので用いやすく、安定した釉薬である。

[ 15 ] 瀬戸・美濃地方に産する褐鉄鉱の一種。風化した岩石に含まれていた鉄化合物が水に溶けて褐鉄鉱となり地層の中の隙間に沈殿し周りの石を取り込んで板状に固まったもの。割れた塊が鬼の持つ鉄棒のようにゴツゴツしている為にそう呼ばれる。鉄呈色の釉薬や鉄絵付けなどの原料として用いられる。

平成 30 年度 東京藝術大学大学院美術研究科（修士課程・第 2 期）

入学者選抜試験 陶芸（陶・磁・ガラス造形）

平成 30 年 2 月 13 日

## 筆 答 試 験 1

### 問 題 2

現在日本において国宝に指定されている陶磁器が 14 点あるが、  
その中の 4 点とその制作された国名もあわせて列記しなさい

平成 30 年度 東京藝術大学大学院美術研究科（修士課程・第 2 期）

入学者選抜試験 陶芸（陶・磁・ガラス造形）

平成 30 年 2 月 13 日

## 実技試験

（12：30～14：30）

### 問題 1

白土 8 kg を用い 轆轤びきにより

張りのある大壺と大皿を八角亀板の上に制作しなさい。

#### 注意事項

- \* 受験票は受験番号札の横に置きなさい。
- \* 別に用意された粘土（1 kg）は八角亀板をとめるために使うこと。
- \* 与えられた道具のみ使用する。
- \* 高台を削ることを前提に制作し、壺はカメ板から切り離すこと。
- \* ひき終えた壺は轆轤の天板からはずし、轆轤の横に置きなさい。

平成 30 年度 東京藝術大学大学院美術研究科（修士課程・第 2 期）

入学者選抜試験 陶芸（陶・磁・ガラス造形）

平成 30 年 2 月 13 日

## 筆 答 試 験 2

（ 1 0 : 4 0 ~ 1 1 : 2 0 ）

用意された作品から、読み解けることを述べなさい。

### 注意事項

- \* 試験時間は 40 分間です。解答用紙に答えなさい。
- \* 作品は触っても構いません。取り扱いには気をつけてください。
- \* 白い紙は草案用紙です。持ち帰ってはいけません。